

ながの環境パートナーシップ会議
平成22年度第8回 幹事会 会議記録

I 日 時 平成22年12月7日（火）18時10分から20時40分

II 場 所 会議室10（市役所第二庁舎6階）

III 出席幹事 4人

（弓場、金井、渡辺、安藤）

IV 欠席幹事 3人

（高木、中村、水野）

V 会議内容

1 新入会員研修会の開催報告

11月27日に開催した研修会について事務局から報告。

2 チラシ作成・ロゴマーク募集について

新入会員研修会でも要望のあった「P会議について分かるもの」を作成していくことになった。内容について今後検討していく。あわせて、キャラクターデザインの募集を行うことになった。詳細は**Ⅶ 主な意見・質疑等**を参照。

3 ニュースレターNo.22企画案について

1月発行予定のニュースレターの企画について、内容と寄稿者について検討した。詳細は**Ⅶ 主な意見・質疑等**を参照。

4 生ごみの削減・再利用システム構築チーム視察旅行の旅費の精算とキャンペーン標語募集状況と受賞者への賞品の予算支出について

11月5日の県内視察の内容についての報告と旅費の支出についての報告があり、旅費は支出が承認された。
また、募集していた標語の募集状況報告があったほか、応募記念品代と受賞者への副賞の支出について、承認された。

5 太陽チームのイルミネーション購入のための予算流用について

啓発に使用するイルミネーションの部品代について、セミナー開催のための講師謝礼30,000円を需用費に流用して支出することが承認された。

6 生物多様性地域懇談会の開催について

P会議として開催することが決定した。開催にあたっては関係すると思われる「市民の森づくり」「水環境保全」「スキー場跡地の自然復元」の3チームを中心に、幹事会でバックアップして開催できるかどうか、3チームのリーダーに投げかけていく。詳細は**Ⅶ 主な意見・質疑等**を参照。

7 平成23年度予算作成の方法について

現在の予算作成方法について、事務局から説明。今後予算作成のスケジュールや方法について検討。予算編成方針を作り、チームリーダーに説明することになった。詳細は**Ⅶ 主な意見・質疑等**を参照。

8 ライトダウン企画について

ライトダウンキャンペーンについて、渡辺幹事から説明があった。多くの方の参加を、お願いしたい。

9 新入会員承認

宮尾氏の申し込みについて、承認された。

10 プロジェクトチーム活動報告

(太陽エネルギー普及促進、トレイ・レジ使用削減、生ごみの削減・再利用システム構築、水環境保全、市民の森づくり、光害対策)

活動記録票等により報告

11 その他

・会計中間監査の実施について

日程調整し、実施することをお伝えした。その際、予算編成についても監事のご意見をいただきたいという意見があった。

VI 今後の日程等

◎幹事会

(1) 日時・場所：1月12日(木) 18:00～ 会議室6 (市役所第二庁舎4階)

(2) 内容：生物多様性地域懇談会、平成23年度予算、広報資料作成ほか。

VII 主な意見・質疑等

1 新入会員研修会の開催報告

・あのような機会、特に気張らずに話しが出来るフリートークの時間を持つことが必要。焦点をしぼって意見が言える場ができれば、チームの活動からみんなで意見交換して発展していける、そういう場の提供ができるのがP会議だと思う。

→一つのチームの活動について、もっとざっくりばらんに意見が言い合えれば、その後のチームの活動に生かしていけるかもしれない。

→前半の研修(アジェンダ21ながの等について)も良かった。自分が知らないこともあった。新入会員だけでなく、他の会員にも聞いてもらいたいと思った。あと、チームの活動に、他のチームの人が入れる、コラボするとか、チーム同士の活動に対する横のつながりが作ればいいのか、とも思った。

→渡辺先生から提案のあった、新入会員パックについて、今回の研修の内容をコンパクトにまとめたものがあれば、新入会員に説明できる。

→入ってくる人は、なんらかの仕事を持っていて、その他に長野市の環境を良くしたいというような思いを持ってくる人、なんらかの自己実現をしたいと考えている。達成感や楽しいという感覚がないと続かない。

→新入会員パックはどういうふうに作っていくか。

→信州環境フェアのときにチラシを作成した。ここにはアジェンダのビジョンとサブビジョンは載っているが、アジェンダ21ながのの詳細やプロジェクトの詳細な内容は載っていない。どういう形で作るか検討していかなければいけないと思う。

(初期のころに作成したリーフレットがあったので、みていただいた)

→どういうものがいいか案を出してもらって作るか。

→しっかりつくるのであれば、お金はかかる。

→パンフだけでいいのか、他にも渡したほうがいいのか。


→P会議とは何か、ということが分かれば。チームにいきなり入ると活動だけになるので、全体の座標軸をしっかり決めるための資料が必要。自分が全体の中でどの部分で活動しているか分かれば。最低限のルールとか。

→新たなものを作ることより、HPの閲覧が出来るようにするとか、そういうふうにもっていくことは考えられないか。

→新人の人が来たときに、HPを印刷して渡すのでもよければ。それで足りる内容にしておけばいいか。

- 新入会員が来たときに、10分くらいでもレクチャーできるものがあればいい。
- 入ってくる人は、事務局に直接来る人はまれで、大体チームの人が引っ張ってくる。
- 会費500円払って、特になにもないという意見はあった。実際には、保険料と郵送料になっているのだが。
- 新入会員パックは、「はいりたいよ」と言ってきた人にあげるものか、「はいってほしいよ」と勧誘するものなのか。今、投網をかけて会員募集したいくらいだが、現実的にはチームで引っ張ってきている。ターゲットが違うと内容も違ってくる。
- でも、簡易的なものがあったらいい。
- チームでも工夫はしている。チームで作ったものをファイルにして渡すのもいいのでは。
- その辺も含めて、あとで事務局から全幹事に投げかけて、どんなものかいいのかたたき台を作成していく。
- 作成スケジュールを決めておけば、作りやすい。出来上がりの時期。
- 1月幹事会で内容の項目立てをし、2, 3月の幹事会で内容決定、デザインもおおよそ決めて、4月の幹事会で全て決定し、印刷に入る。

2 チラシ作成・ロゴマーク募集について

- ・チラシ作成については、「1 新入会員研修報告」のなかで言及している。チラシになるか、リーフレットになるか、今後検討していく。
- ・「ロゴマーク（文字）」でなく「キャラクターデザイン」の間違い。検討したのは右のデザイン。
 
- アジェンダ21ながの作成時に、そのときの「手をつないで協力して地球環境のためにがんばっていきましょう」という思いを託したデザイン。変えたほうがいいのか、という話は前からちらほらあった。デザイン的に微妙だということもあるのだが。
- 名刺に使用している。
- この絵は正式に認知されているわけではない。ちょうどいいからということで使っているが、あたらしく募集して正式に決まれば、それを使ってくださいということでもいいのでは。
- このデザインは認められたものでないことであれば、募集かけてみるのもいいか。そのうえで、これがいいということになれば、それでいいし。
- 会員だけに募集するか。
- 会員だけでなくも。
- 褒賞はどうするか。
- 予算の範囲内であれば、図書カードとか。デザインが得意な人であれば何もなくても応募するかも。キャラクターデザインを募集することで、応募するときにはP会議とは何かを考える機会になるのもいいのでは。パンフレットを作るときには載せたい。
- これからどのように募集するか。
- 長野市の電気自動車のロゴマーク募集をしたら、広島から応募してきた人がいた。HPに載せると、そういうこともある。褒賞は図書カード5千円だった。どこまでの範囲で募集するかも考えたほうがいい。P会議と全く関係ない人のもいいか。
- 長野市民か、長野市に通勤・通学している人にかぎるか。（市内在住又は市に通勤・通学している）
- 著作権の問題もある。応募したデザインが他で特許をとって使っている場合もあるので、特許庁などで調べたほうがいいこともある。
- では、それは、留意するという事。デザインによっては、調査することも考える。
- では、募集案を事務局で作成して、すぐに全幹事にメールで流すことにし、2月1日広報に募集掲載できるようにする。

3 ニュースレター№.2 企画案について

- ・内容について、3面のチームの活動報告をメンバー募集でチームの活動内容を掲載するのはどうか。
 - たとえば、いくつかのチームの紹介をして、あわせてメンバー募集をするか。
 - 年3回なので、5、6チーム位の紹介をしないと1年で終わらない。紙面を組むのが大変だが、ブロックにしてレイアウトを作れば。どのチームを載せるかは事務局と相談する。
 - 関連団体は長野県環境保全研究所の須賀さんかどうか。
 - 直接須賀さんをお願いします。

4 生ごみの削減・再利用システム構築チーム視察旅行の旅費の精算とキャンペーン標語募集状況と受賞者への賞品の予算支出について

- ・この予算は、もとは講座を開催するためのものだったのか。
 - そのとおり。チームの中の問題で、ガーデニング講座が組めなかったため、募集することになった。

5 太陽チームのイルミネーション購入のための予算流用について

- ・これは、夜使うときには太陽光を使うのか。
 - 昼に太陽光で発電した電気をバッテリーに充電して使用する。
 - 使う頻度はどのくらいか。イベントのたびに使うのか。出前で東急でやったが、そういうときに使うのか。
 - そのとおり。

6 生物多様性地域懇談会の開催について

- ・11月27日の午後に有機農法研究会でこの懇談会をやっていた。
 - 長野県環境保全研究所の須賀さんからP会議でやってほしいという話があった。県では生物多様性地域戦略を策定しなくてはならない。何を決めるかということ、「対象とする区域」「目標」「施策」。この前段階で取り組んでいる団体や人から意見をすいあげようということだが、P会議でいえば水環境や市民の森やスキー場は関係があるところはあるが、どういうやり方をすればいいか。P会議として生物多様性についての取り組みを表立ってやったことがない。生物多様性のことを聞くだけでもいいかもしれない。
 - 生物多様性とは何かを聞きたい人もいるのではないか。
 - 出前講座とは違う。できれば、チームでやったほうがいいのでは。
 - 具体的なものが伴っていないと。
 - そうすると、やはり、市民の森か水か大岡か。声をかけてみるか。幹事会でのサポートはもちろんするが。どういう形で働きかけるか。幹事会主体で3チームに声をかけるか。
 - 呼びかけだけして、チーム主導でやっていただいて幹事会でサポートするのはどうか。
 - それだと、3チームがどこかで集まって協議しないと決められない。
 - 入れ物だけこちらで作って、3チームに声をかけたほうがいいのか。あまり時間も無い。
 - この件での幹事会の担当幹事は弓場代表幹事と安藤幹事ということでもいいか
 - 承認。
 - この懇談会は会員限定か、公募するのか。
 - 公募はしないで、会員のみ。
 - 開催時期は2月中・土日のイメージか。
 - とりあえず、堀池さんにお話して、相談してみることにする(事務局から)

7 平成23年度予算作成の方法について

- ・ これまでは権限がなかったので、事務局が予算の査定をすることは出来なかった。今回、幹事会として予算編成方針を示したり、査定をすることについては幹事会が責任を負わなくてはならない。予算編成方針を示すには事前に幹事会で詰めなくてははいけないし、査定をするのも、幹事だけでなく、監事や一般の会員にも入ってもらうのか、決めておかないといけない。監事の監査を踏まえて予算の査定をしたいと個人的には思うが。
- 今までチームで予算を作るときには、これも今年やったからつけといたほうがいいのか、という感じでつけていた。しかし、チームも増えて、そのままつけることは難しくなる。予算の見直しは必要だと思う。
- プロジェクトチームに配分する予算と、他の団体に配分する予算というのとも考えたほうがいいのかもわからない。
- お金をとることはとても厳しい。助成金とるにしても書類だして審査を受けてプレゼンしてダメだったら落とされる。P会議は、一旦予算がつくとチームの中で自由に使えるのは恵まれている。長野地域の環境を考えていくのであれば、長野市の他の環境団体と一緒に推進できるシステムづくりも考えていくべきではないか。
- チームとしても、今の段階で来年何をいつやるかというのはしっかり決めることは難しい。なので、今年と同じで、ということになってしまう。
- 外の団体が何かやる時には、プロジェクトを明確にしてこれをやるからこれだけ欲しいといって助成金をだす。場合によっては一律3万円とか各チームに払ったとしても、そこから上はよその団体とのプレゼンとかをして配分してもいいかもしれない。でも、アジェンダの遂行の役割もある。現実的にアジェンダの推進が進んでいるところとそうでないところがあるので、それも踏まえて査定しなければいけないと思う。どういうふうにするか。
- 事業計画が先。難しいかもしれないが、1年の活動計画をたてたうえで、これにかかる経費としてだす。
- みなさん仕事でなく、ボランティアでやっていることなので、1年間の計画をつくるのがとても難しい。変わる可能性もある。
- 変わるのはいかまわぬこと。予算があるから何かする、でなく、これをするからこれだけほしい、というふうに変えていかないと。必要なのは費用対効果を考えること。
- みんな夜や土日に出てきてやっているのだから、公益性があるのは当然だが、そこにかかる費用と成果をみたときに、これでいいのか、という思いはある。
- そこで、費用対効果のことをあまり言ってしまうと、効果があらわれない、目に見えないものもあるから、気をつけなくてははいけない。
- スケールをあててきっちりではなく、考え方の中にそういうものを置いていて、幹事会で出していないと前と同じになる。今まで以上に計画を細かくたててみよう、評価指標を作ってみよう、その指標は数字でも何でもかまわぬと思う。そこまで考えるプロセスを持っておこうということを提案すれば、予算が厳しいんだというところに打ちかえるきっかけになると思う。
- 事業計画もチームでだけ作るのではなく、全体の計画も作るのだから、その部分の予算どりもきちんとしておかないと。
- チームリーダーを集めてそのあたりのこととお話したほうがいいのか。
- 予算編成方針と事業計画の説明。
- チームに予算編成の説明をして、計画と予算を練ってもらって、幹事と監事で協議して、それをまたリーダーにおろして、相談していくか。
- 説明会はメンバーのだれかが出てくれるようにすれば。ただ、チームリーダーが集まる機会がないので、こういうときに集まってもらえれば。
- 今後のスケジュールとしては、1月末に説明して、2、3月に予算と計画作成、4月の幹事会で予算審議、4月中に審議内容をチームにおろし、必要ならもう一度審議し、5月で予算案決定、6月に総会で決定か。

- では、**説明会は1月28日金曜日の夜**ということ。場所はふれあい福祉センターに確認する→予約 Ok
- 幹事会で出していくべき予算編成方針について、市内の団体との公平性やアジェンダとの兼ね合いのことも、どのように考えていくべきか。
- 予算編成方針案を作って、1月の幹事会の前に全幹事にみてもらって、1月の幹事会で決定して、それを説明するのはどうか。
- 事業費について、今はついた予算をそのまま使えるようになっているが、その事業が始まるまでプールしておくのも手か。
- 本当にその事業をやるときに、幹事会で承認するとか。
- 予算と執行は本来別。執行段階でまたチェックをかける。
- 今は、予算より多く支出したり、活動内容が違ったりした場合は幹事会の承認を得る必要があるが、予算の範囲内で、予算のときにだした活動内容であれば支出している。
- 大きく予算どりにしていればそれでいいということになる。
- 規程の整備も含めて検討していかななくてはいけない。
- アジェンダの目的に沿った活動をする団体であれば、そういう団体にも予算を出せる仕組みづくりを考えていければいい。チームになるかどうかは分からないが。
- それは組織改革の目標だった。その辺も編成方針に書き込むか。
- プロセスと予算編成方針の大枠の思いのようなものを代表幹事としてたたき台として作るので、それを全幹事で練って、1月の幹事会で決めてそれでよければチームにおろすことでいいか。→決定
- 中間監査はいつあるのか、できれば、監事さんに事業について意見をもらい、編成方針に反映させたい。
- 日は決まっていないが、間に合うと思う

8 ライトダウン企画について

- ・22日にはコンサートを行う。コンサート実施中は、信州デスティネーションキャンペーンのイルミネーションも消してもらえることになった。キャンドルを作るガラス瓶を募集中。ボランティアセンターにお持ちいただきたい。透明のもので、背が低く、口が広いもの（ジャムのビンみたいなもの）。参加登録もお願いしたい。また、市民新聞に広告を出す予定。そこで、夏に登録した団体の名前を出す。

9 新入会員承認

特になし。

10 プロジェクトチーム活動報告

特になし。